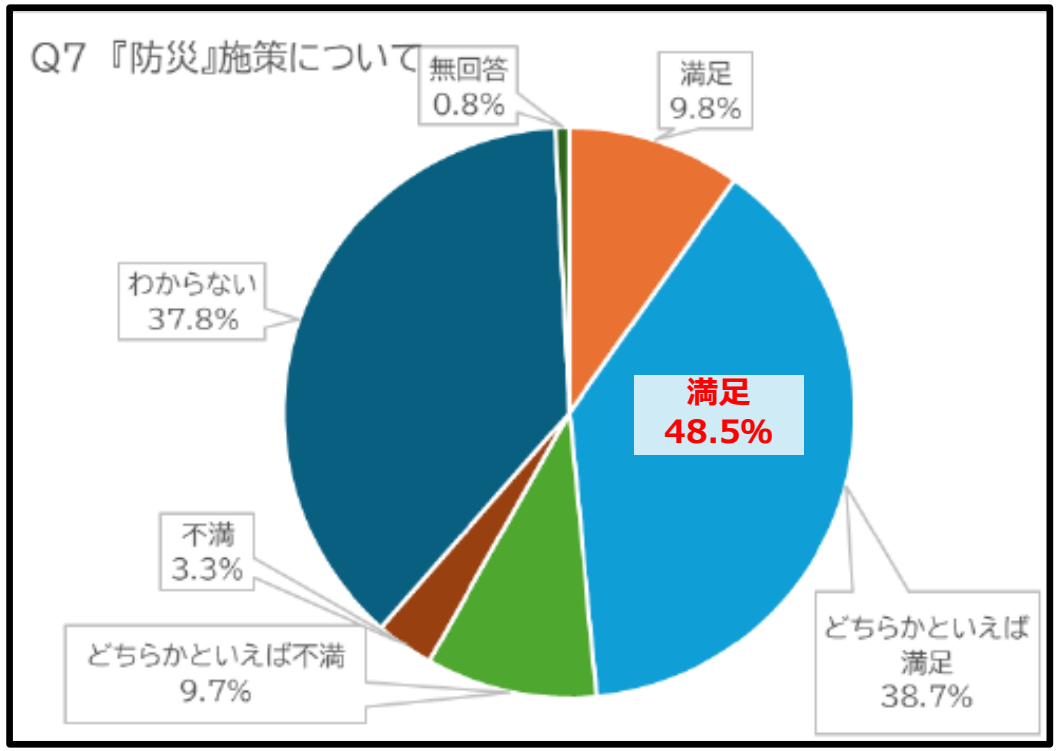
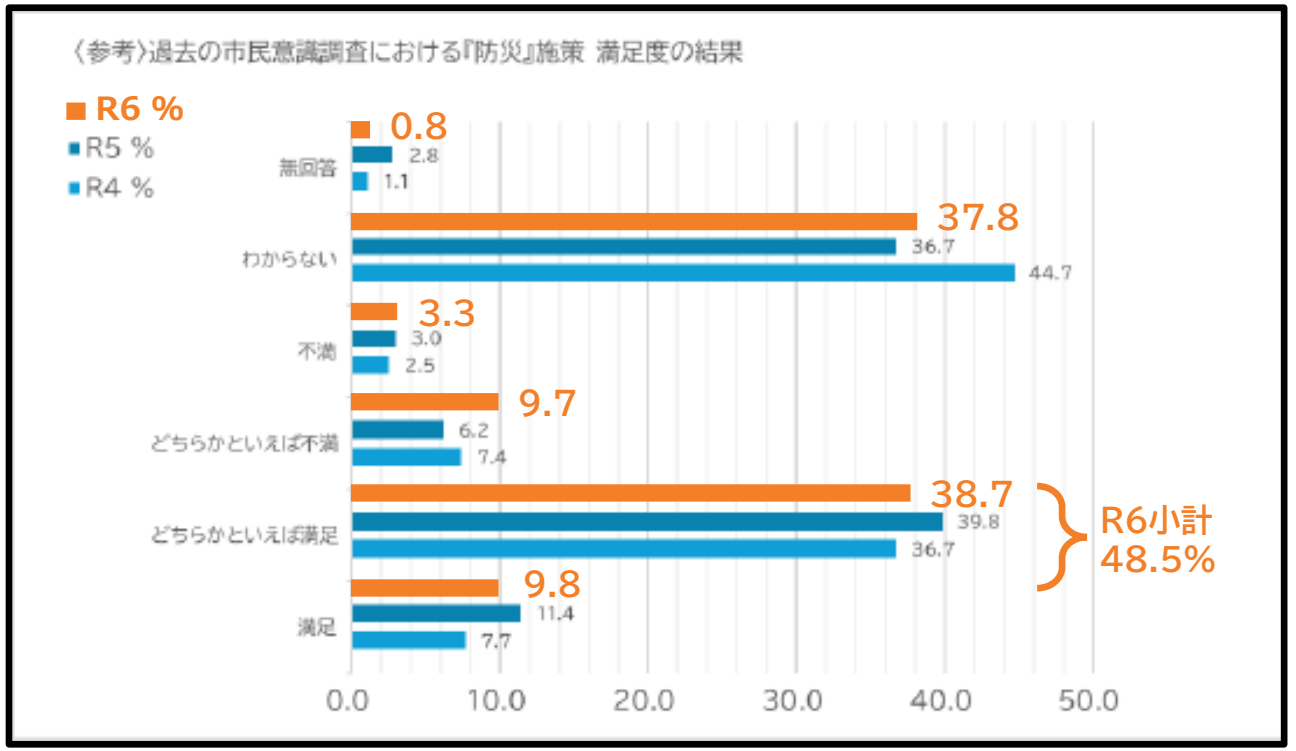
施策評価報告書（施策３－１　防災）

令和７年11月７日

市民生活部・健幸福祉部・まちづくり部

施策３－１　防災（分析）





- **「満足」**と**「どちらかといえば満足」**は**約５割**で推移　（R6：48.5%　←R5：51.2%　←R4：44.4%）
- 一方で、**『わからない』**の回答が　**約４割**　で推移　（R6：37.8%　←R5：36.7%　←R4：44.7%）

（理由）「防災に関心のある市民」が**増えていない**ことが推測される

施策３－１　防災（分析）

市民生活部・まちづくり部・健幸福祉部

『防災』の満足度 × 回答者属性

			回答者数	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答
全体		件数	1,009						
		%	(100.0)						
年齢	10代	件数	11	2	4	0	0	5	0
		%	(100.0)	(18.2)	(36.4)	(0.0)	(0.0)	(45.5)	(0.0)
	20代	件数	88	12	26	5	1	44	0
		%	(100.0)	(13.6)	(29.5)	(5.7)	(1.1)	(50.0)	(0.0)
	30代	件数	156	16	59	7	2	71	1
		%	(100.0)	(10.3)	(37.8)	(4.5)	(1.3)	(45.5)	(0.6)
	40代	件数	175	15	55	15	12	76	2
		%	(100.0)	(8.6)	(31.4)	(8.6)	(6.9)	(43.4)	(1.1)
	50代	件数	196	17	76	23	7	70	3
		%	(100.0)	(8.7)	(38.8)	(11.7)	(3.6)	(35.7)	(1.5)
	60代	件数	193	17	70	26	7	73	0
		%	(100.0)	(8.8)	(36.3)	(13.5)	(3.6)	(37.8)	(0.0)
	70代以上	件数	180	20	93	22	4	40	1
		%	(100.0)	(11.1)	(51.7)	(12.2)	(2.2)	(22.2)	(0.6)
	無回答	件数	10	0	7	0	0	2	1
		%	(100.0)	(0.0)	(70.0)	(0.0)	(0.0)	(20.0)	(10.0)

『防災』の満足度 × 回答者属性

			回答者数	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答
全体		件数	1,009						
		%	(100.0)						
お住まいの地区	芋窪・蔵敷地域	件数	114	9	39	18	5	43	0
		%	(100.0)	(7.9)	(34.2)	(15.8)	(4.4)	(37.7)	(0.0)
	奈良橋・湖畔・高木地域	件数	97	12	42	11	3	27	2
		%	(100.0)	(12.4)	(43.3)	(11.3)	(3.1)	(27.8)	(2.1)
	狭山・多摩湖・清水地域	件数	97	15	34	7	5	35	1
		%	(100.0)	(15.5)	(35.1)	(7.2)	(5.2)	(36.1)	(1.0)
	上北台・立野地域	件数	136	9	57	7	3	60	0
		%	(100.0)	(6.6)	(41.9)	(5.1)	(2.2)	(44.1)	(0.0)
	中央・南街地域	件数	156	18	65	14	8	51	0
		%	(100.0)	(11.5)	(41.7)	(9.0)	(5.1)	(32.7)	(0.0)
	仲原・向原地域	件数	139	16	46	10	2	64	1
		%	(100.0)	(11.5)	(33.1)	(7.2)	(1.4)	(46.0)	(0.7)
	清原・新堀地域	件数	69	7	15	12	2	33	0
		%	(100.0)	(10.1)	(21.7)	(17.4)	(2.9)	(47.8)	(0.0)
	桜が丘地域	件数	173	12	84	17	5	55	2
		%	(100.0)	(6.9)	(48.0)	(9.7)	(2.9)	(31.4)	(1.1)
	無回答	件数	26	1	8	2	0	13	2
		%	(100.0)	(3.8)	(30.8)	(7.7)	(0.0)	(50.0)	(7.7)

市道第8号線(奈良橋2丁目～湖畔3丁目)

総合防災訓練

（１）年齢クロスによる考察

○７０代以上　：　６割以上が満足

×４０～６０代：　１割５分が不満

×１０～４０代：　４割以上がわからない

➢被災経験のある世代 と 経験のない世代 の「危機意識の差」が要因の一つであると推察

（２）地域別クロスによる考察

○奈良橋・湖畔・高木、中央・南街、桜が丘　：　５割半ばが満足

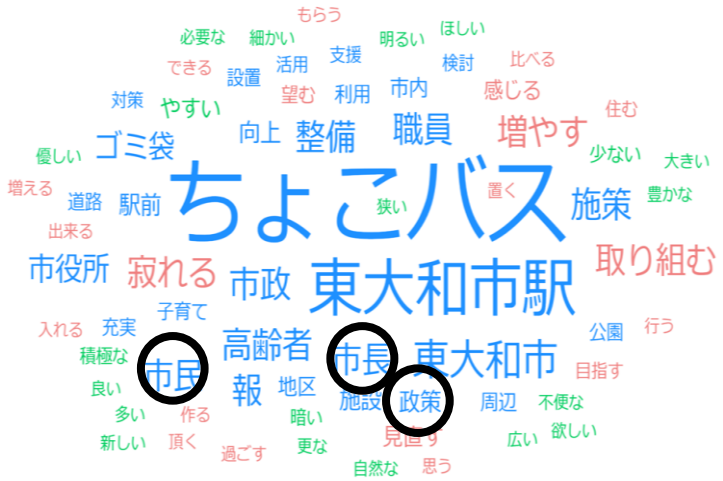
×芋窪・蔵敷、清原・新堀　：　約２割が不満

➢急傾斜地のある「奈良橋・湖畔・高木」と「芋窪・蔵敷」の満足度に差が生じた理由は、「市道第８号線ブロック積み擁壁補修工事」の状況がアンケート調査票に掲載されていたことによるものと推察

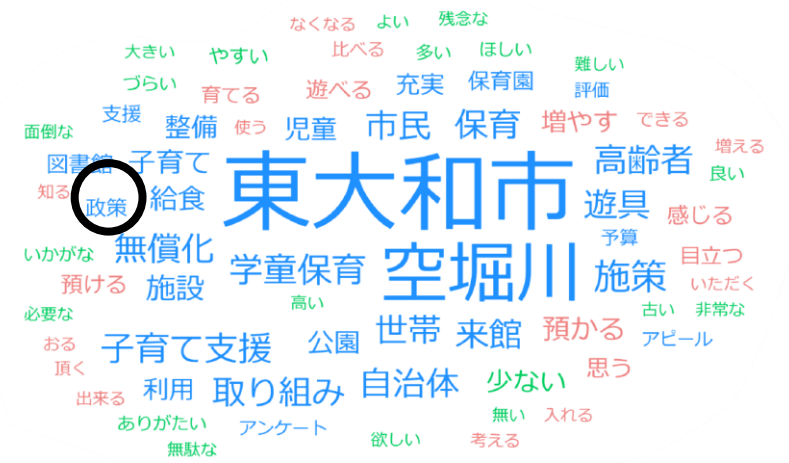
➢南部の各地域は相対的にリスクが低いが、震災時の火災危険度が高い「清原・新堀」は満足度が低くなっているものと推察

➢「清原」は高齢者が多く、防災に対する「不安」があるものと推察

施策３－１　防災（分析）



テキストマイニング（その他）



自由記述一覧

防災対策に関する市の現状と今後の見解を知りたい。
避難所へのペットと同行・同室避難を可能にしてほしい。
避難所においてプライベートに配慮したテントを取り入れてほしい。
防災訓練等に市長が足を運ぶのは素晴らしい、市民生活に寄り添った政策を。
防災放送は「終戦日」「大震災の日」等に黙祷の放送の検討を。
市公式HPのホーム画面から防災情報に直接辿り着けるような工夫を。

- 市の**防災対策**や**避難所の運営**に関する意見など、**市民生活に寄添った政策を求める意見**があることがわかる。
- 意見にはないが、**市民満足度向上**のため、市は以下の**取組**を行っている。
  - **木造耐震・除却助成、空家対策**により、**市街地の防災性が向上**
  - 住民参加型の学びながら楽しめる**総合防災訓練の実施**により、**参加者の防災意識が向上**
  - **火災警報器の交換補助の実施**により、火災時における**早期避難を支援**
- 一方で、**テキストマイニング**から**情報を読み取ることが難しい。**

（１）現状と課題

①**清原・新堀の満足度**が**低く**、**不満**を感じている割合が**高い**

⇒清原・新堀の満足度の向上させる取組が必要【ハード・ソフト 都市づくり】

②　**１０～４０代**の**「わからない」の回答**が**４割**以上となっており、**防災に対する関心が少ない**状況

⇒　１０～４０代の満足度及び関心を高める取組が必要【ソフト・防災施策】

③　**高齢化率の高い「清原」の満足度が低い**

⇒高齢化を踏まえた取組が必要【ソフト・災害時要支援者】

（２）取組の方向性

①令和６年度から防災安全課と連携し調整を進めている、

新堀１．２丁目の防災性向上に向けた取組を推進**【都市づくり課】**

及び**感震ブレーカーの購入補助**を実施し、地域の災害時の**出火防止**を推進**【防災安全課】**

②**防災訓練を周知、参加**を**促し**、**訓練を通じて**防災への関心を高める**【防災安全課】**

③**避難行動要支援者避難支援登録制度**の**活用**及び**周知・啓発**による不安の解消**【地域福祉課】**